



報道関係者 各位

平成 24 年 12 月 3 日
横 浜 市
東京急行電鉄株式会社

「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として「医療・介護連携 の地域包括ケアシステム推進部会」を立ち上げました！

～ 第 1 回部会を 11 月 30 日に横浜市青葉区医師会館にて開催 ～

趣 旨

横浜市と東京急行電鉄株式会社（以下「東急電鉄」という。）は、今年 4 月 18 日に締結した「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定に基づき、「次世代郊外まちづくり」の主要な取組として、在宅医療の充実と医療・介護が連携した地域包括ケアシステムの構築を目的とした「**医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会**」を、横浜市青葉区医師会や地域の医療機関、介護事業者の皆さまと共同で設置することとし、第 1 回部会を 11 月 30 日に横浜市青葉区医師会館にて開催いたしました。

横浜市では、「次世代郊外まちづくり」の医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会の取組みを、環境未来都市計画の実現に向けたモデル事業として位置づけ、推進していきます。

取組の背景

東急田園都市線沿線の郊外住宅地に代表される都市近郊の郊外住宅地においては、今後、急増する高齢者や要介護者の急増に伴い、病床不足など医療機関や介護施設・サービスの不足が顕在化していくことが深刻な社会課題になることが懸念されます。国でも在宅医療・在宅介護の推進を今後の医療・福祉政策上の重要な施策としていますが、横浜市でも「第 5 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において、高齢者が地域で引き続き自立した生活が送れるよう、その人の状態に応じて、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の実現を基本目標として位置づけています。また、「次世代郊外まちづくり」モデル地区（青葉区美しが丘）で地域住民の皆さまと協働で進めているワークショップ等においても、近い将来、地域の医療、介護問題が大きな課題となるのご意見を、住民の皆さまからも数多くいただいております。

これを受けて、横浜市と東急電鉄は、「次世代郊外まちづくり」が目指す「既存のまちの持続、再生」には、住み慣れた地域の中で安心して自分らしい生活を実現できる、在宅医療の充実と医療・介護が連携した地域包括ケアシステムの仕組みづくりが必要不可欠な喫緊の課題であると位置づけ、青葉区をモデル地区として、地域の実情や特性に沿った医療・介護が連携した地域包括ケアシステムの構築について、青葉区医師会や地域の医療・介護関係者と公・民が連携してこの課題解決に取り組んでいくこととしました。

医療・介護が連携した地域包括ケアシステムは、大規模団地や戸建て住宅地の持続・再生の取組みの中で重要な役割を果たします。この取組を通して「次世代郊外まちづくり」が目指す住まいや暮らしのインフラ・ネットワークの連携・統合した「コミュニティ・リビング」の実現を目指します。

「医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会」の概要

「医療・介護連携の地域包括ケアシステム推進部会」の参加者は、下記のとおりです。また、千葉県柏市、福井県、岩手県釜石市などにおいて、地域包括ケアシステムを中心とした長寿社会のまちづくりの先進的、学際的な研究と実践活動を行っている、東京大学高齢社会総合研究機構の支援と助力を得ていきます。

(1) 目的

横浜市青葉区において、高齢者が地域で自立した生活を送ることができ、住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を実現できる在宅医療システムと医療・介護が連携した地域包括ケアシステムの仕組みづくりを、地域の実情や特性に沿った形で地域の医療・介護関係者と公民が連携して構築していく。

(2) 取組事項

青葉区の在宅医療を支える仕組みづくりや情報共有システムの構築
医療・介護の多職種間による顔の見える連携の場作り
24時間対応の在宅医療、訪問看護や定期巡回・随時対応サービスの充実
住まい、生活支援サービスとの連携

(3) 部会の構成

青葉区内の医療・介護関係者		横浜市・東急電鉄
青葉区医師会	青葉区ケアマネジャー連絡会	横浜市青葉福祉保健センター
青葉区歯科医師会	青葉区訪問看護連絡会	横浜市健康福祉局
青葉区薬剤師会	青葉区訪問介護連絡会	横浜市建築局
青葉区内 病院・診療所	青葉区通所介護連絡会	東急電鉄
青葉区メディカルセンター	青葉区内 社会福祉法人	

<アドバイザー> 東京大学高齢社会総合研究機構

(4) スケジュール

平成25年9月末に、青葉区における在宅医療と医療・介護連携の地域包括ケアシステムの目指す姿の答申と、中長期目標へ向けた具体的施策の設定
既存の医療・介護リソースを活用した具体的アクションへ着手
(情報共有システム、バックベッド、医療介護連携等)

* 「次世代郊外まちづくり」は「既存のまちの持続、再生」を目的に、地域住民、行政、大学、民間事業者の連携、協働によって「暮らしのインフラ」と「住まい」を再構築し、少子社会、高齢社会の様々な課題を一体的に解決していくことを目指していく従来にない参加型、課題解決型のまちづくり手法を進めるプロジェクトです。横浜市が推進している「環境未来都市」計画において、超高齢化対応の主要な取組である「持続可能な住宅地プロジェクト」として位置づけているものです。

* 「次世代郊外まちづくり」の詳細は、下記ホームページをご参照ください。
ホームページアドレス：<http://jisedai.kogai.jp>